

(3) 葉上動物調査を5月から1月までに5回行った。各定点ともErrantia, Gammaridae, Macruraが平均して多く出現した。

(4) アイゴ類幼魚の藻場への来遊を6月から9月にかけて調査した。シモフリアイゴは2回来遊したが後期来遊群は前期群に比べ成長が著しく遅かった。その他アミアイゴ、ヒメアイゴ、ゴマアイゴが採集されたが、採集数が少なく成長解析は行えなかった。

(5) 名蔵湾における1988年の定置網漁獲量を集計した。イスズミ類冬季群、ギンガメアジ類、ゴマアイゴ春期群、ハリセンボン類、コブシメ類の漁獲が増加し、クロサギ類は減少した。

(6) 人工魚礁調査を8月に行い17種が確認された。ロクセンフエダイ、ヨスジフエダイ及びミツボシクロスズメが多く観察された。

(7) 水質調査を5月、9月、12月に行った。調査項目は水温、pH、塩分濃度、DO、COD、PO4-P、NH4-N、NO2-N、NO3-Nで、分析結果から特に異常と思われる値はでなかった。

参考文献

- 沖縄県水産試験場八重山支場 1978: 昭和52年度名蔵湾保護水面調査報告書、藻場、PP. 17
" 1979: 昭和53年度名蔵湾保護水面調査報告書、藻場、PP. 20
" 1980: 昭和54年度名蔵湾保護水面調査報告書、藻場、PP. 22
" 1981: 昭和55年度名蔵湾保護水面調査報告書、藻場、PP. 21
" 1982: 昭和56年度名蔵湾保護水面調査報告書、藻場、PP. 16
" 1983: 昭和57年度名蔵湾保護水面調査報告書、貝類・藻場、PP. 51
" 1984: 昭和58年度名蔵湾保護水面調査報告書、貝類・藻場、PP. 42
" 1985: 昭和59年度名蔵湾保護水面調査報告書、貝類・藻場、PP. 45
" 1986: 昭和60年度名蔵湾保護水面調査報告書、貝類・藻場、PP. 46
" 1987: 昭和61年度名蔵湾保護水面調査報告書、藻場、PP. 29
" 1988: 昭和62年度名蔵湾保護水面調査報告書、藻場、PP. 24
本永文彦・喜屋武俊彦 1988: 沖縄島沿岸定置網によって漁獲されるシモフリアイゴの産卵生態、南西外海の資源・海洋研究、Vol. 4, 33-40

調査担当者 海老沢明彦
杉山昭博
呉屋秀夫
前潟光弘